

第9期瀬戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 評価表（令和7年度年間評価）

基本目標5 認知症の早期対応と共生社会をめざす施策の推進

評価項目	年間目標値	中間実績値	年間実績値	数値達成度	事務局総合評価
認知症サポーター養成講座（地域包括支援センター主催）新規受講者数	117人	68人	92人 (年間見込)	△	C
	R6評価	0人	60人	○	C
	年度末には年間目標値に近づく見込み。年度末までに2つの地域包括支援センターで講座を開催予定。				
地域はつらつ講座延べ参加者数	578人	116人	355人 (年間見込)	△	C
	R6評価	118人	447人	○	C
	年度末までに講座を2回開催予定であり、延参加者数355名（見込）となり目標値の61%の達成率となる。				

【数値達成度（対目標値）】

- ◎ 100%以上の達成度合
- 75%以上 100%未満の達成度合
- △ 50%以上 75%未満の達成度合
- × 50%未満の達成度合

【総合評価（目安）】

- A 優れた創意工夫等を行い、目覚ましい効果を上げることができた
- B 創意工夫等を行い、一定程度の効果を上げることができた
- C 課題解決に向け、改善に取り組んでいるが不十分である
- D 課題が解決されず、効果が上がっていない

総合評価
C

担当部署評価

認知症サポーター養成講座（地域包括支援センター主催）新規受講者について、認知症に関する他の講座も含めると、認知症に対する正しい理解や具体的な対応方法は少しずつ周知できている。新たな周知方法として、SNS等の利用も検討していく。地域はつらつ講座については、地域包括支援センターごとで開催数が偏るため、実施回数が少ない地域については、地域包括支援センターから地縁団体等に呼びかけるよう働きかけていく。また、生活支援コーディネーター等を通じて地域に講座を周知する方法を検討する必要がある。

評価委員会評価

地域はつらつ講座について、長く利用されている方が多い反面、新しい受講者を地域で求めることが難しい現状がある。地域包括支援センターの負担も高く、年間目標値の設定が高い印象がある。
認知症サポーター養成講座（地域包括支援センター主催）新規受講者について、認知症

サポーターは、オレンジサポーターとしての養成講座が受講できるなど、さらにステップアップし、認知症の方々へ支援するような方向につなげていくことを期待したい。